

アンケート調査に係る考察

I 調査の概要

1 調査の目的

第3期の丹波市丹（まごころ）の里創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）の策定に向けて、若い女性が地方回帰を検討するターニングポイント（きっかけ・動機付け）を明確化するとともに、具体化する「人物像」に焦点を絞った施策展開（ポジティブアクション）を検討する基礎資料とするため、市内外の若い女性にアンケート調査を実施した。

2 調査対象者及び回答数

下記の対象者に、回答方法を記載した案内状を送付し、2次元コード又はURLを通じて、専用の回答フォームからご回答いただいた。

No	対象	回答数
①	丹波市ふるさと住民	61 人
②	武庫川女子大学の学生	26 人
③	武庫川女子大学附属高等学校の生徒	22 人
計		109 人

3 調査期間

令和7年6月4日（水）～令和7年6月18日（水）

4 留意事項

- （1）設問ごとにその設問内容を示すタイトルを記載。
- （2）各設問の選択肢等について、その意味を損なわない程度に表現を簡略化している場合がある。

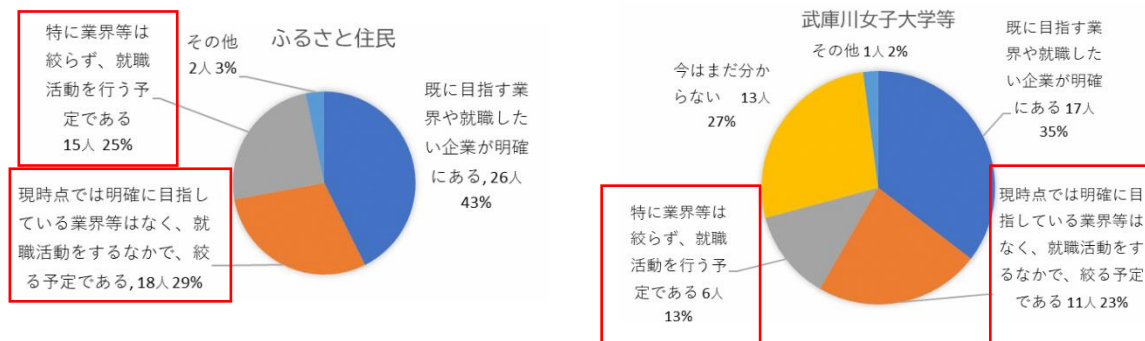
Ⅱ 調査結果の概要

1 就職に対する意識（就職活動のきっかけ/優先順位）

就職先を選ぶ決め手は、給与・やりたい仕事・ワークライフバランスの充実

就職先を選ぶ決め手として、「給与」、「やりたい仕事・希望する職種」、「ワークライフバランスの充実」が、ふるさと住民と武庫川女子大学及び附属高等学校の学生（以下、「武庫川女子大学等」という。）で順番こそ相違はあるものの、共通した優先項目となっている。これに続き、「福利厚生の充実」、「社長や社員の人の人柄」が続く結果となった。特に、20代等の学生では、約9割の方が「仕事とプライベートのどちらも大切にしたい」と回答しており、ワークライフバランスに関する取組の重要性についても確認することができた。

また、これらの希望に合致する就職先を決めるにあたり、明確に志望する業界や企業に対して、就職活動を行う方がおられる（約4割）一方で、就職活動を行うなかで志望する業界や就職先を決定される方も同数程度おられる。この傾向について、一部では専門的な人材もおられると思うが、多くは専門知識を有しない一般職の事業所に就職される方の割合が高いことが推測される。



2 地方回帰の可能性

転職活動の一般化と移住意識の高まり

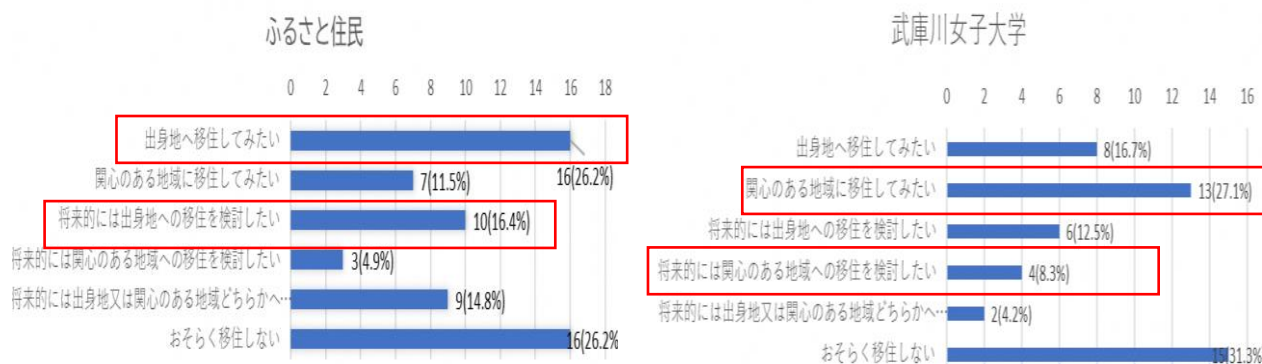
就職を希望する地域は、兵庫県の阪神/神戸エリア（ふるさと住民については、丹波市）、大阪府が大部分を占めており、東京都を選択される方は0人であった。

次に転職活動に係る意識について確認したところ、大学生・高校生で2割程度、社会人については、7割程度の方が既に転職活動をしていたり、将来的に転職を希望されている結果となり、1つの会社に留まらない傾向が確認できる。

さらに移住の意向について確認したところ、ふるさと住民・武庫川女子大学等の双方とも、7割近い割合で将来的な移住を検討されていることが分かった。ふるさと住民は、出身地への帰属意識が高い（移住を希望される回答のうち、約6割が出身地への移住を検討）一方で、武庫川女子大学の学生等は、出身地ではな

く、関心のある地域への移住を希望する割合が高い（移住を希望される回答のうち、約5割が関心のある地域への移住を検討）結果となった。

これらの傾向を踏まえ、就職活動の結果として、希望する兵庫県や大阪府ではなく、東京圏を含む他自治体で就職したとしても、根底として、ふるさと住民の帰属意識の高さと武庫川女子大学等のＩターンの可能性について確認することができた。



3 若い女性に選ばれる地域を目指して

本市が若い女性に選ばれる地域を目指して、あらゆる場面で快適で過ごしやすい生活環境を整えることや戻ってきたいと思える選択肢を充実させる必要がある。このため、今回のアンケート調査から、浮かび上がった課題と取組のヒントや傾向について、下記のとおり、まとめることとする。

(1) 過ごしやすい学校生活を目指して

快適な学校生活に向けたルール作り

勉学や部活、友人関係の構築など、大学等の高等教育機関のない本市にとって、小学校から高校までの学校生活は、本市への愛着を育み、一旦本市から離れたとしても、本市に戻りたい、関係を持ち続けたいと思ってもらう重要な時間である。この割合を高めるため、児童や生徒における学校生活での疑問や違和感を解消し、より過ごしやすい環境を整える必要がある。

アンケート調査では、生徒の髪型や服装、いわゆる身だしなみに関する不満が多く回答されている。根拠が不明で現実には即していないルール等が学校に存在しているという生徒等の理解である。身だしなみ以外でも、こどもの人権や個性、多様性が尊重される時代にそぐわない又は合理的でない校則や慣習を見直し、より快適に学校生活を送れる環境を整える必要がある。

(2) 暮らしやすい地域を目指して

都会では感じない地域活動への負担解消や違和感の是正

地域における活動において、ふるさと住民に加え、武庫川女子大学の学生等に

についても、地域でのお祭りやクリーン作戦などのイベントや行事に参加されていた。参加した結果、「様々な人とつながりができた」や「地域への愛着が深まった」など、好意的な所感を確認することができた。一方で、武庫川女子大学の学生等からは、地域との関わりのなかで、具体的な不満等は確認できなかったが、ふるさと住民からは、地域活動が共働き家庭の負担となっていることや地区同士における排他的な雰囲気を感じたなど、少数ではあるものの、否定的な意見が確認された。昨年度実施した意識調査においても、強すぎる地元への愛着や地域の目は、若い女性にとっての過ごしにくさにつながることから、若い女性が感じるこの違和感等を是正していく必要がある。

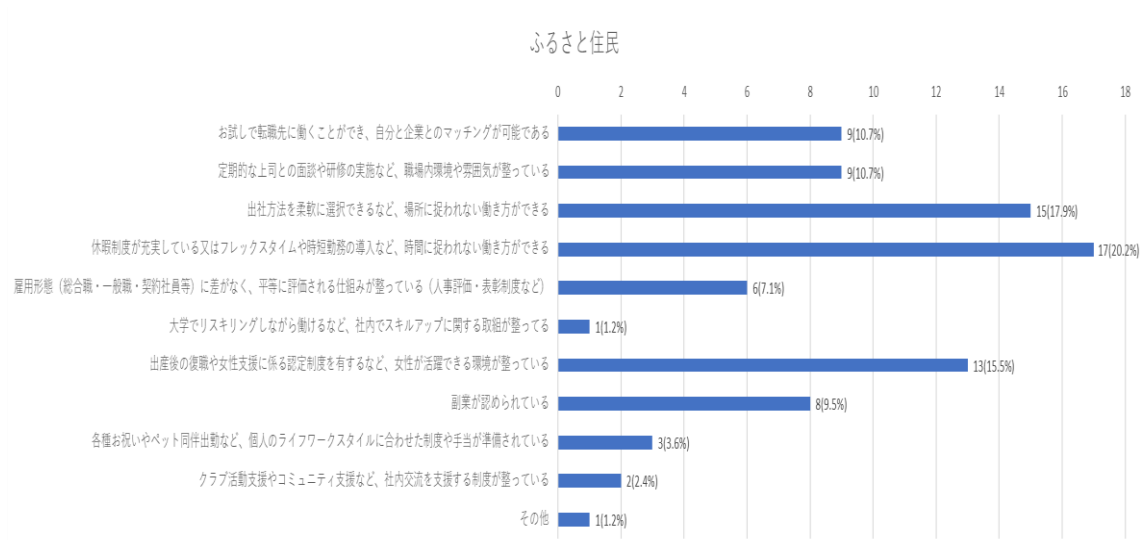
(3) 転職にあたっての必要な支援

個人の生活スタイルやワークライフバランスに対応した柔軟な働き方の推進

- (1) 休暇制度が充実している又はフレックスタイムや時短勤務の導入など、時間に捉われない働き方ができる 20.2%
- (2) 出社方法を柔軟に選択できるなど、場所に捉われない働き方ができる 17.9%
- (3) 出産後の復職や女性支援に係る認定制度を有するなど、女性が活躍できる環境が整っている 15.5%
- (4) お試しで転職先に働くことができ、自分と企業とのマッチングが可能である 10.7%
- (5) 定期的な上司との面談や研修の実施など、職場内環境や雰囲気が整っている 10.7%

先述の「2 地方回帰の可能性」のとおり、ふるさと住民として市外でお勤めの約7割の方が転職の意向を示している。転職を希望する理由については、「給与」、「社風や人間関係」、「ワークライフバランス」に対する不満が上位となっており、「1 就職に対する意識」で求めていた就職時との理想に乖離が生じていることが分かる。「就職時とのギャップ」についても、多数の回答があり、回答の形を変え、同様の乖離を確認することができる。

これらの理想と現実のギャップを埋める有効な取組として、「時間に捉われない働き方」、「場所に捉われない働き方」など柔軟な働き方に対する取組や「女性が活躍できる環境整備」が上位となっている。これに加えて、「自身と企業とのマッチング」など転職時におけるギャップの解消に対する取組や「職場内環境の充実」など働きやすい職場の雰囲気の構築、「副業」の実施における収入増を図る取組などが続く結果となった。



（４）移住支援

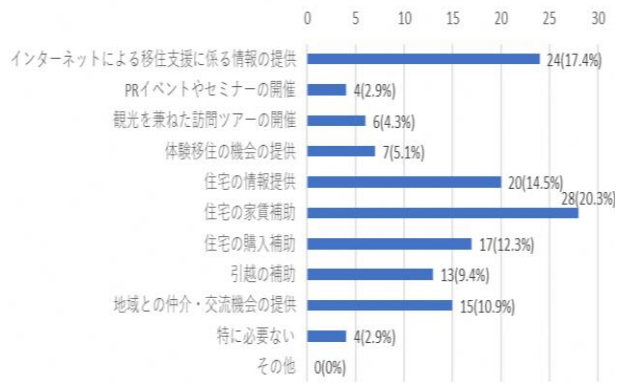
定住に向けた移住支援と効果的な情報発信＋Ｉターン者が丹波市に触れる取組の強化

- （１）住宅の家賃補助 20.9%
- （２）インターネットによる移住支援に係る情報の提供 17.2%
- （３）住宅の情報提供 12.3%
- （４）引越の補助 11.1%
- （５）住宅の購入補助 10.2%

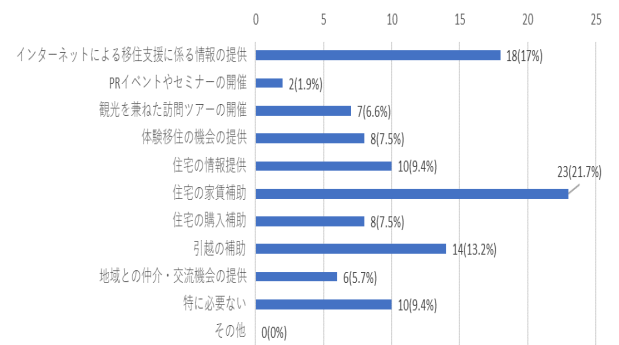
移住を検討するにあたり、有効な情報について、確認したところ、「不動産に関する情報」、「移住に関する情報」、「子育て支援に関する情報」が上位であった。また、ふるさと住民（社会人）は、大学生等との比較し、「子育てに関する情報」の回答が多かったことに対して、ふるさと住民（学生）及び武庫川女子大学等は、ふるさと住民（社会人）と比較して、「友人や同世代が集まる情報」や「イベント情報」の回答が多かった。

次に、実際の移住にあたって、有効な支援を確認したところ、「住宅の家賃補助」の回答数が最も多く、続いて「インターネットによる移住支援の情報提供」、「住宅の情報提供」、「住宅の購入補助」など住居に関する回答が多くなった。また、ふるさと住民（学生）は「地域との仲介・交流」、武庫川女子大学の学生等は「観光を兼ねた体験ツアー」や「体験移住」など、実際に移住を検討している地域への訪問に関する回答が多くなった。

ふるさと住民



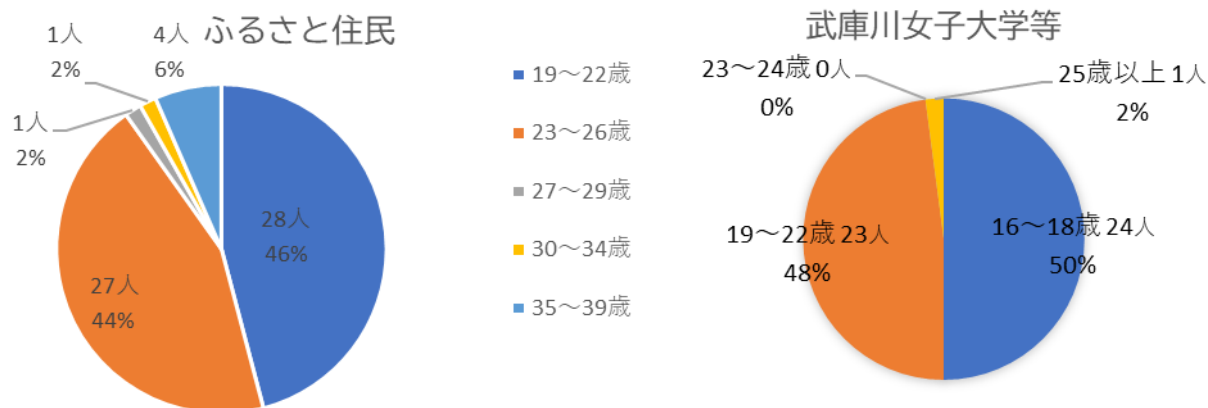
武庫川女子大学等



Ⅲ 調査結果

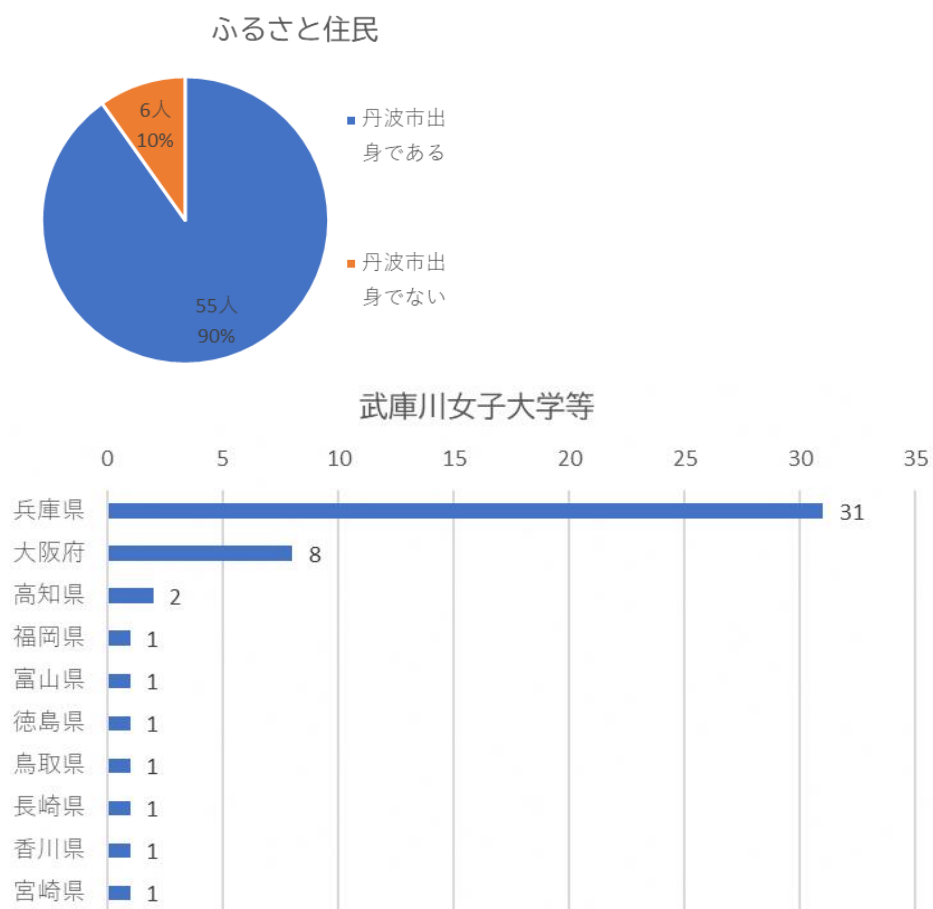
問1 年齢（単数回答）

問1 年齢を教えてください（令和8年3月31日時点）



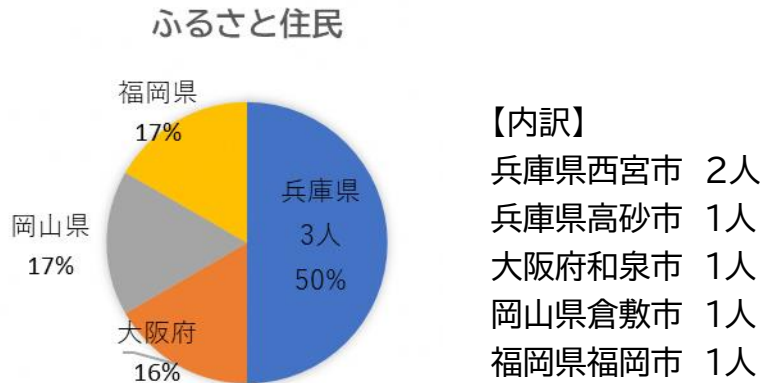
問2 出身地（単数回答）

問2 あなたの出身地を教えてください



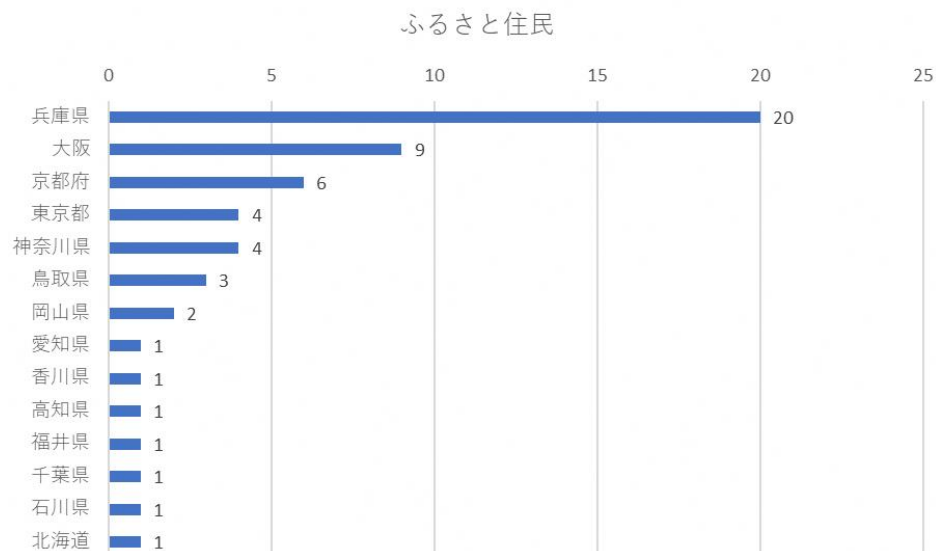
問3 出身地（丹波市出身外）【ふるさとと住民のみ】（記述）

問3 丹波市出身でない方は、どちらのご出身ですか（都道府県名と市区町村を記載してください）



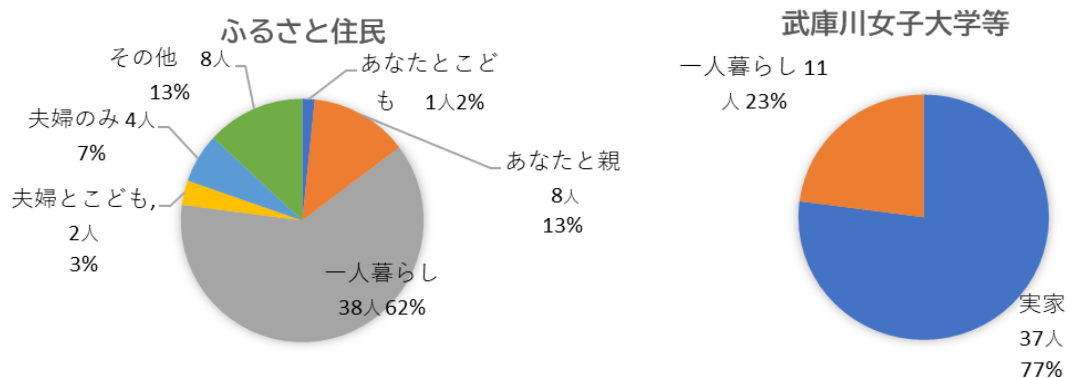
問4 現在の居住地【ふるさとと住民のみ】

問4 現在どちらの市区町村にお住まいですか



問5 家族構成（単数回答）

問5 現在生活をともにしている家族の構成を教えてください



問6 家族構成（共働きの有無）【ふるさと住民のみ】（単数回答）

問6 ご夫婦は共働きですか

■「夫婦のみ」及び「夫婦とこども」の6件全てで共働きの回答となった。

問7 職業【ふるさと住民のみ】（単数回答）

問7 あなたの職業を教えてください

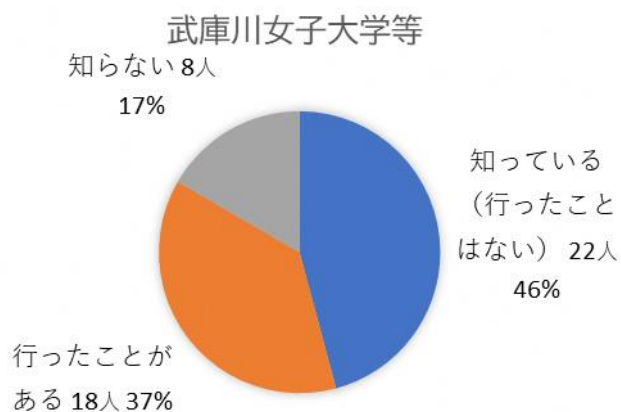
■「大学生・大学院生」及び「専門学校生・短大生」など、学生が最も多い回答となった。次いで、「会社員（総合職・一般職）」、「医療関係者」と続いている。



問8 丹波市の認知度【武庫川女子大学等のみ】（単数回答）

問8 丹波市のことについて、お尋ねします。あなたは丹波市をご存じですか

■「知っている（行ったことはない）」及び「行ったことがある」で、83%を占める結果となった。



問9 丹波市を知ったきっかけ【武庫川女子大学等のみ】（自由記述）

問9 丹波市を知った又は来られたきっかけ、イメージについて、教えてください

- ・自然
- ・有名だから
- ・黒豆

- ・丹波の方で有名なショッピングセンターがあったから
- ・丹波少年自然の家のイベントに結構参加していた
- ・有名なお店があったから。また、小4の時に校外学習で丹波焼を作った。
- ・母親の実家が丹波です。
- ・小学校の時の自然学校で訪れたことがあります。自然豊かで夜は結構暗かった気がします。秋くらいに行ったのもあって結構寒かったです。夜空がとても綺麗だったと思います。大きな建物が少なかったと思います。
- ・丹波篠山市だから
- ・両親がもともと丹波市が好きで、一緒に行きました。
- ・近くに住んでいたから
- ・小学校の社会の授業で知った
- ・母の病院のイベントで行きました。自然豊かなところで落ち着いた生活が送れそうだなと思いました。
- ・黒豆を買いに行った
- ・実習先が丹波市だった。自然豊かでいいところだと感じた。
- ・栗
- ・学校の授業でいった。自然が豊かな場所だった。
ソーシャルワーク実習先にあり、実習報告会で丹波市のことを知る機会があった。のどかなとこだなと思った。
- ・食べ物が美味しい、自然豊か
- ・丹波市と丹波篠山市を間違えて認識していた
- ・黒豆や栗のイメージです。家族で秋に食べに行ったことがあります。
- ・ショッピングに行った。
- ・ガールスカウトの活動で自然の家へ行った。
- ・名前だけ知っている。イメージは特にない。
- ・自然豊か
- ・友達が丹波市出身だった。
- ・黒豆
- ・古民家を利用したカフェが多い、レトロ、田舎
- ・丹波竜で丹波市を知ったのでイメージは恐竜の街と思っている。
また、黒豆茶を飲んでいたり黒豆が有名であるはず。
- ・実習で行っている子がいたからです。
- ・ゼミの先生が丹波市の話をされていたのがきっかけで知りました。
- ・大学のゼミ活動で訪問したから。
- ・学校のゼミ活動
すごく自然豊かな場所だなと感じました
- ・カフェなどがあるため行った。のどかな雰囲気だった

問 10 丹波市の魅力や不満【武庫川女子大学等のみ】（自由記述）

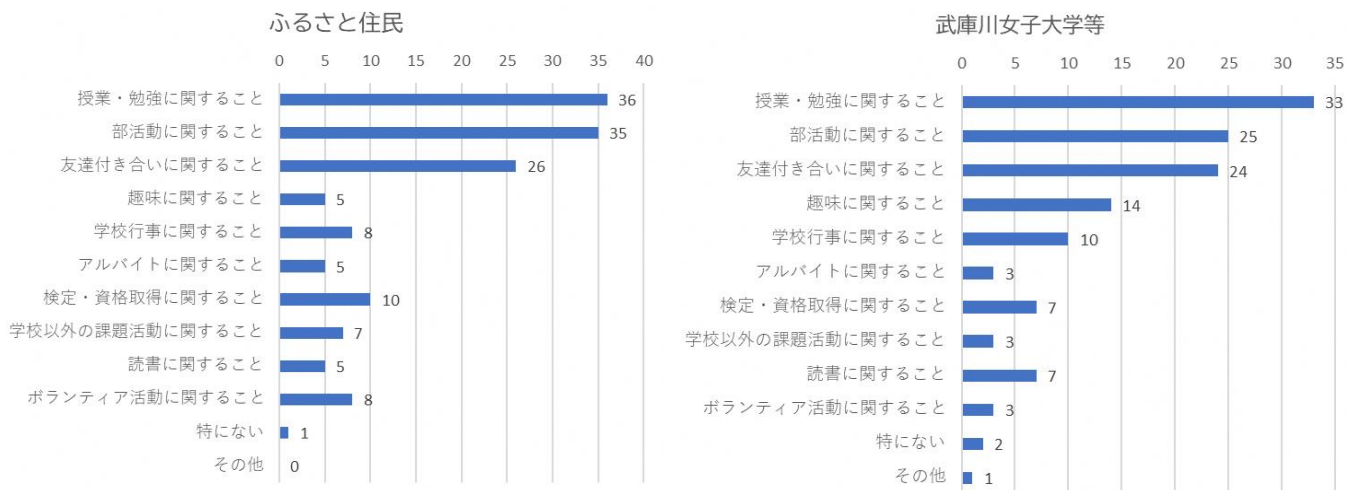
問 10 丹波市に魅力を感じた点又は不安や不満を感じた点があれば教えてください

- ・ 特にない
- ・ 自然が綺麗でのか。
- ・ 川沿いの桜が綺麗
- ・ とくにないです。
- ・ 田んぼが多く、黒豆が美味しいです。
- ・ 私は天文が好きだから、観察に適してそうだなっていう点で魅力を感じています。自然豊かだし空気が澄んでそうだし、周りにあまり大きな建物とかもなさそうやからすごい綺麗に見えそうだと感じています。でも一般的に言えば暗いのはちょっと危ないのかなって思うし、自然豊かということは虫も多いんじゃないかなって思います。私は夜空が綺麗に見える状態なら大丈夫かなって思います。
- ・ ない
- ・ 自然豊かなところ
- ・ 娯楽が少ない
- ・ ご飯がとっても美味しくて、自然豊かで人が優しいところが大好きです。アンバサダーの新木さんのファンなので新木さんに会えることも魅力だと思います。
- ・ 自然豊かでいいところだと感じた。
- ・ 虫が多そう、車がないと不便そう
- ・ 自然豊かで、帰省するたびにほっとします。丹波市出身と言うと、丹波篠山市と間違えられることがあるので、少し不安に感じます。
- ・ 自然が豊か
- ・ 地域住民の方が親切だった。
- ・ 人が少なく静かだと思った。
- ・ 恐竜といったロマンがある観光資源があるのがいいなと感じる。
- ・ 自然が多く、景色が綺麗なところが魅力であると感じました。
- ・ 自然が豊かで、時間が穏やかに過ぎていくような魅力があると感じた。

問 11 学校生活で前向きに取り組んだこと（複数回答 3つまで）

問 11 あなたの小学校・中学校・高校生活を振り返り、前向きに取り組んだこと又は取り組んでおいて良かったと思うことはなんですか

- ふるさと住民及び武庫川女子大学生等とともに、「授業・勉強に関すること」「部活動に関すること」「友だち付き合いに関すること」の順となった。
- 次いで、ふるさと住民では「検定・資格取得に関すること」、武庫川女子大学等では「趣味に関すること」の順となった。



問 12 学校生活での疑問や違和感（自由記述）

問 12 あなたの小学校・中学校・高校生活を振り返り、疑問や違和感に思っていたルールや決まりごとがありますか（そのルール等がなければ、より快適に過ごせたと感じたことなど）

【ふるさと住民】

- ・学校の風紀に関するルールなど
- ・あだな、呼び捨て禁止
- ・小学、中学の地区大会はすごく楽しかったです。組体操も迫力があって好きでした。無くなってしまった（？）のが残念です…
- ・税の作文、読書感想文、人間作文が任意でないところ
- ・中学生のとき、靴、靴下、下着の色は白でないといけないルールはおかしいと思っていた。
- ・髪型何故ポニーテール禁止なの？？下着の色何故白色限定なの？？（下着の色を白にすることで余計に下着が目立ちすぎる現実を知らないの？）何故日焼け止め禁止なの？？（昨今、日焼けは肌へのトラブルを招くといわれていますよね、なのになぜ？？）何故学校のクラスの空調は担任の機嫌で決まるの？？（担任が機嫌悪かったら、つけてくれないってなに？？嫌がらせ？？腹いせ？？生徒である私たちの健康度外視の指導ってなに？？）全然、世間の常識についていけない教育現場にウンザリ。教職の人は、先生・せんせいと生徒・保護者からあがめられて…。また、ある意味生徒は人質状態だから何も口答え出来ないってどうなの？
- ・給食を絶対に食べ切らねばならないという風潮が嫌でした
- ・お菓子持ち込み禁止
- ・制服のスカート丈や、くつ下の履き方が細かく指定されていたこと。
- ・高校で、制服の下に着用するシャツや、下着は、白色指定
- ・下着の色、髪型などの校則、置き勉禁止
- ・白靴下、肌着は派手でないもの、スカートは膝より下
- ・カーディガンがだめ、靴下は白

- ・真冬でもスカートの下にズボンや黒い厚手のタイツなどを履くのが禁止だった事です。冷えて腹痛をよく起こしていました。
- ・ルールとしてあるわけではないが、課外活動を応援してくれる雰囲気をもっとあって欲しかった。部活や勉強を重視しすぎていた。
- ・中学生の時、先輩より長い靴下を履いたら目をつけられていた
- ・風紀チェックが厳しいところ。
- ・学校の外でも名札を着用するのは良くないと思う。体操服なども個人情報が見える場所には安易に名前を付けるべきではないと思う。
- ・寄り道禁止、買い食い禁止、
- ・

【武庫川女子大学等】

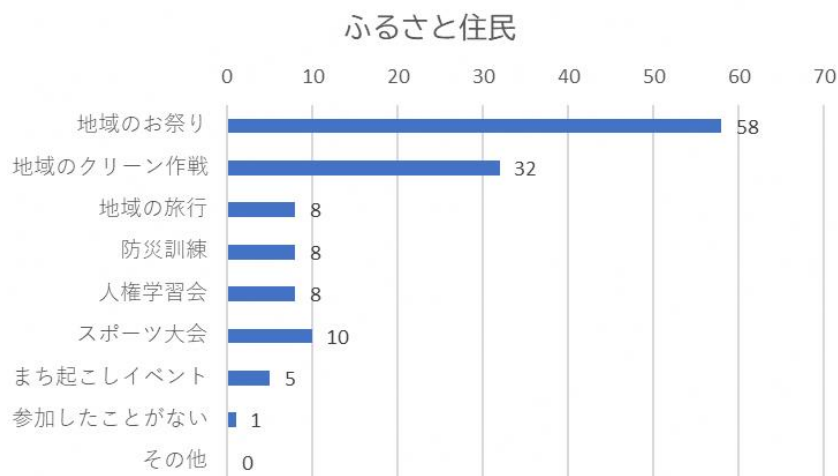
- ・髪型の制限、革靴強制、間食禁止。
- ・髪を結ばないといけないこと
- ・制定靴下、カバン
- ・生徒のアイデンティティを大事にしていない。(例)、制定の靴下以外の靴下の着用。
- ・水泳更衣室を広く綺麗にしてほしかった
- ・廊下を走ってはいけない、右側通行体育館に上靴で入ってはいけない、傘を教室まで持ってこないといけない
- ・修学旅行とかにスマホ持って行ったらダメなのとか…修学旅行くらい持って行きたかったし親と連絡したいし。ホテルでは貴重品として没収っていうか、集めるって感じでもいいから自由行動の時とか逸れちゃダメだし持って行きたかったなあって思います。あと冬場に校内を移動する時、制服の上からジャージ羽織ったり、マフラーつけたりするの許してほしいなあって思います。
- ・すまほ
- ・部活動の遠征練習でスマホや携帯などの連絡手段が使えないルール
- ・髪型が自由じゃない、鞆が小さいのに指定されていた
- ・イヤリングをつけることの規定があったこと。(小学生までなら安全面で理解できる)高校時は規定のダッフルコート以外の防寒具は着てはいけない決まりがあった。
- ・小学校の体育の授業で上着と下着の禁止、小学校の実技科目(体育など)が専門教師でないこと、小学校の組体操で身長が高いというだけの理由でピラミッドの一番下の土台にされたこと
- ・メイク、髪型の制限
- ・学校では講義が中心であり、議論する時間がなかった。加えて授業に一生懸命取り組むことがかっこ悪いという風潮があったのがどうにも学校に居心地悪く思えた。
- ・中学校のとき、部活動の上下関係が厳しかったです。
- ・中学校のルールで、完全夏服になってから空調などで肌寒い時にカーディガンの着用が不可で、ジャージを着なければならなかったこと。

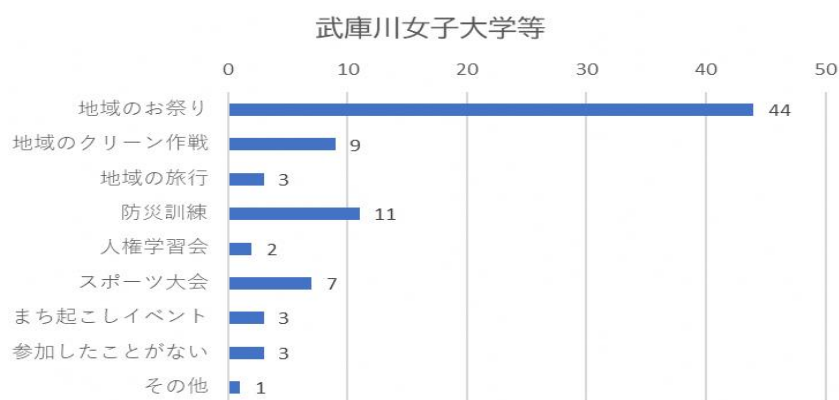
- ・学校でスマホを触らない
- ・赤ちゃん先生という授業が不快で参加しなかった。
- ・私が小・中・高の学校生活を振り返って感じた違和感は、「見た目」に関する校則の厳しさです。髪色は黒でなければならない、ツープロックや耳にかかる髪型は禁止、メイクやピアスも NG など、細かいルールが多くありました。当時は「学校のイメージ」や「規律を守るため」と説明されていましたが、今思えば、見た目で人を判断することと同じではないかと疑問に感じます。今の社会では「多様性」や「個性の尊重」が大切にされているのに、学校だけがそれに逆行しているようにも思えます。本来、見た目の自由をある程度認めることは、オン（学校・会社）とオフ（家や遊び場）の切り替えを学ぶ良い機会にもなるはずです。すべての校則をなくす必要はないと思いますが、生徒が納得できるような「理由のあるルール」や、個性を活かせるような「緩和されたルール」であれば、もっと快適で意味のある学校生活が送れるのではないかと思います。校則とは、本来「生徒がよりよく成長するための手段」であるべきで、その目的を見直すことがこれからの学校に必要なだと感じます。
- ・子供会などに入らなかったら周りの人からあまり接されないこと
- ・スカートの長さや靴下の長さ、靴の規定などがあり、少し窮屈に感じていました。
- ・靴下、靴の色の指定、髪型の指定

問 13 地域イベント（複数回答 3つまで）

問 13 あなたは、生まれ育った地域で、どのような地域イベントや行事に参加されましたか

- ふるさと住民及び武庫川女子大学生等とも「地域のお祭り」が最も多い回答となった。
- 次いで、ふるさと住民は「地域のクリーン作戦」、武庫川女子大学生等は「防災訓練」と続いている。

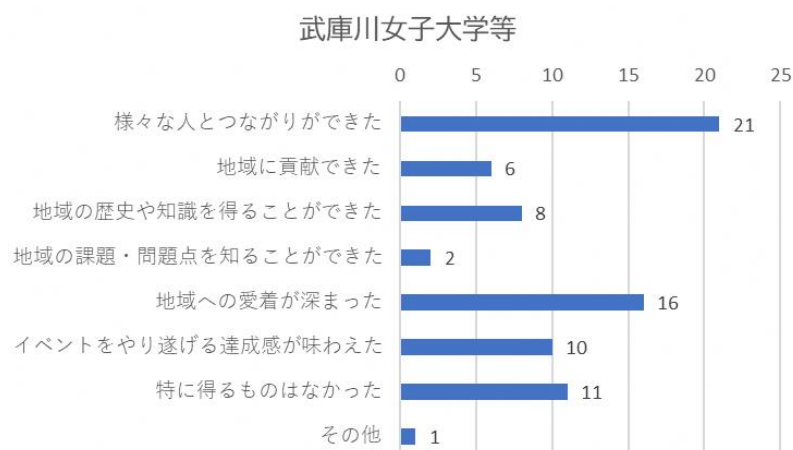




問 14 地域イベントに参加して感じたこと（複数回答 3つまで）

問 14 地域イベント・行事に参加したことで、良かったと感じられた点はどのようなことですか

- ふるさと住民及び武庫川女子大学生等ともに「様々な人とつながりができた」「地域への愛着が深まった」の順になった。
- 次いで、ふるさと住民では「地域に貢献できた」「イベントをやり遂げる達成感を味わえた」と続いている。
- 武庫川女子大学生等では「イベントをやり遂げる達成感を味わえた」「地域の歴史や知識を得ることができた」と続いている。



問 15 地域との関わりでの疑問や違和感（自由記述）

問 15 地域との関わりの中で、疑問や違和感を感じたことがあれば、教えてください

【ふるさと住民】

- ・関わり自体が薄れている
- ・意外とみんな長生きのため、若者は 18 歳くらいで外に出ることが多いが、高齢者は増える。
- ・地元愛が強すぎて気持ちが悪かった。また柏原高校の教師を OB まみれにしているのは非常に良くないと思う。オリエンテーション合宿での起床時間に校歌を流すなど気分が悪い。戦時中かと思った。
- ・クリーン作戦に欠席の場合は罰金を払わなければならないのはおかしいと思った。共働きがほとんどの時代で、本来休息するための休日に早朝から活動させられるのはおかしい。罰金制度があることで、ほぼ強制的に参加させられるのは共働き世帯にとってはかなり負担になっている。
現在移住してくる人が多いためその人たちのための政策などをされているが、元々住んでいる人たちのための政策がされていない。移住者を集めることも大事ではあるが、今住んでいる人たちを大事にすることの方がより大事である。このままではいま住んでいる人たちは別の地域に出ていく一方ではないだろうか。
- ・愛育会ってなに？？見回り活動なんて無駄でしかない。子育て親世代への時間の無駄。このご時世、子育て親世代は働いているし、こんな適当な地域のつながりなんていない。
- ・全体的に人口が減少しているから町興しすべき
- ・参加者が固定化していて、地域の人全員にそのイベントが知られているのか疑問に思った。
- ・これまで運営を担ってこられた方々と若年層の熱量の差が大きいように感じる。
- ・小さい地区同士でどこか排他的な雰囲気がある。

【武庫川女子大学等】

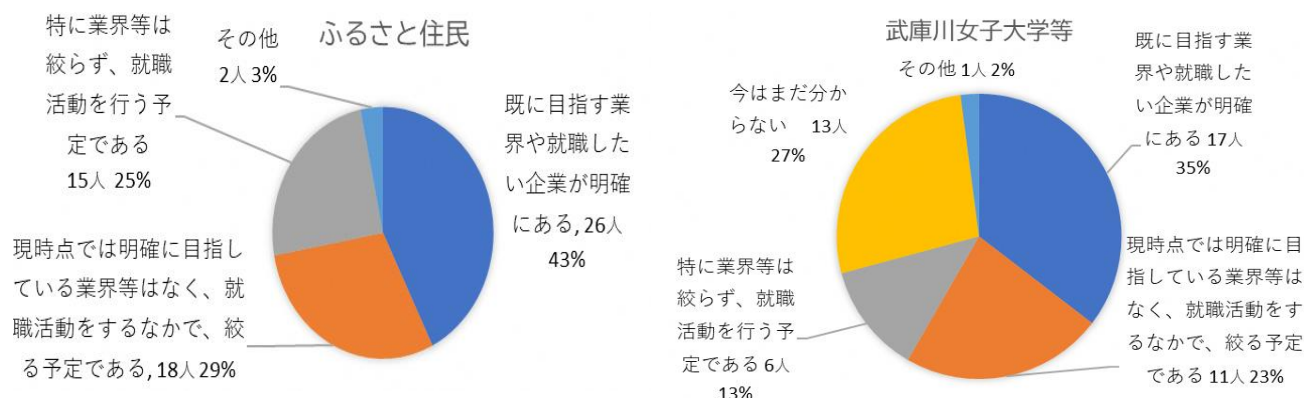
- ・お年寄りが多い
- ・地域の人と関わる機会が希薄化しているように感じる。
- ・地域の集まりは高齢者が中心であり、学生が入れるものではない。

問 16 就職活動を始めたきっかけ（単数回答）

問 16 現在のお勤め先に対する就職活動を始めた（現在お勤めでない方は今後希望する）きっかけを教えてください

- ふるさと住民及び武庫川女子大学等ともに「既に目指す業界や就職したい企業が明確にある」は約 40%となっている
- 一方で、就職活動をしながら、業界や就職先を決める人は、ふるさと住民で

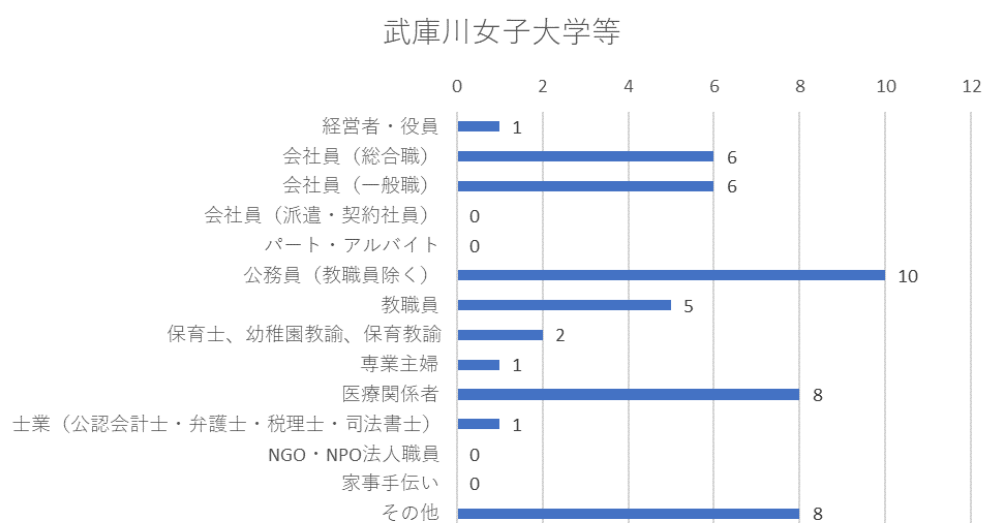
54%、武庫川女子大学で 36%となっている。



問 17 将来希望する職種【ふるさと住民（学生のみ）・武庫川女子大学等】（単数回答）

問 17 あなたが将来希望するお勤め先の職種を教えてください

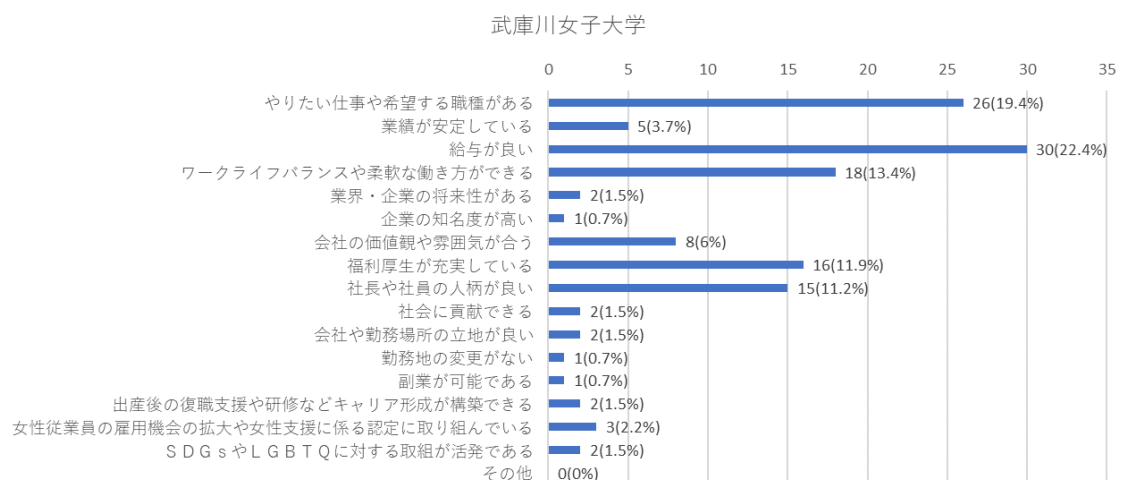
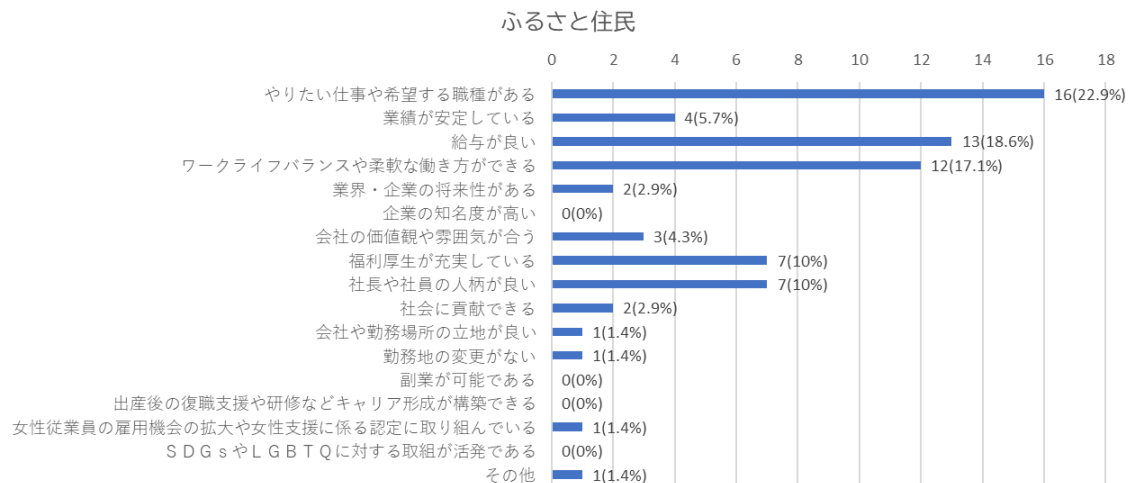
■ふるさと住民と武庫川女子大学等で順番に相違はあるものの、「会社員（総合職・一般職）」「公務員」「医療関係者」の回答が多くなった。



問 18 就職にあたっての優先する条件【ふるさと住民（学生のみ）・武庫川女子大学等】（複数回答）

問 18 あなたが就職するにあたり、優先する条件を教えてください

- ふるさと住民及び武庫川女子大学等とも順番に相違はあるものの、「やりたい仕事や希望する職種がある」「給与が良い」「ワークライフバランスや柔軟な働き方ができる」の回答が多くなった。
- 次いで、「福利厚生が充実している」「社長や社員の人が良い」が続いている。



問 19 就職を希望する地域【ふるさと住民（学生のみ）・武庫川女子大学等】（単数回答）

問 19 あなたが就職を希望する地域はどこですか

- ふるさと住民は「丹波市」が最も多く、次いで「兵庫県（阪神/神戸エリア）」、「大阪府」と続いている。
- 武庫川女子大学等は「兵庫県（阪神/神戸エリア）」「大阪府」への回答が多く、次いで、「希望する地域はない」が続いている。

ふるさと住民



武庫川女子大学

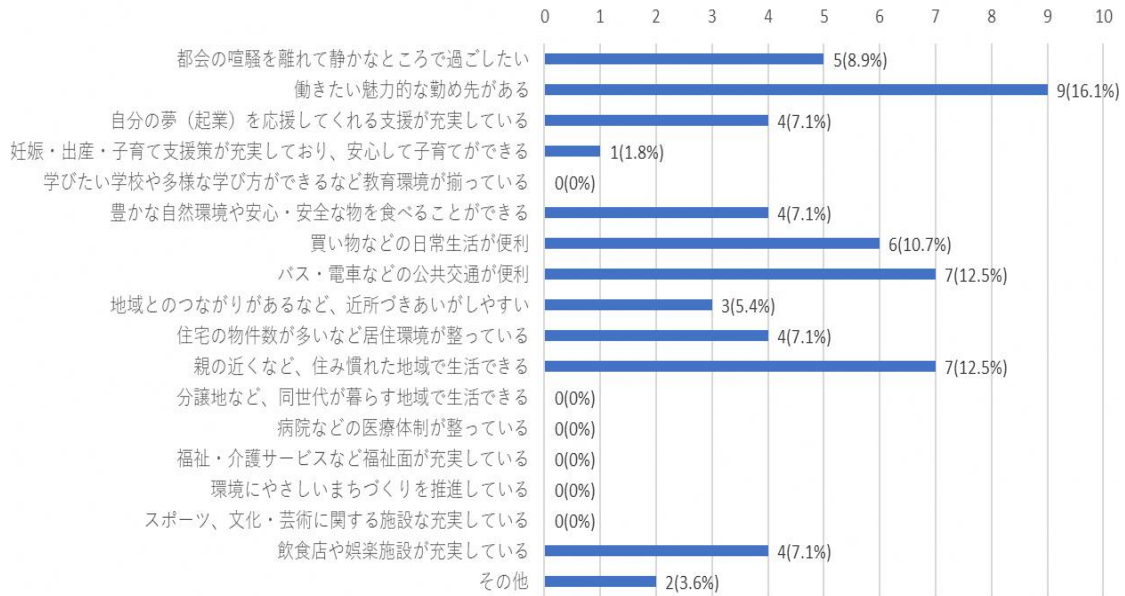


問 20 その地域の希望する条件【ふるさと住民(学生のみ)・武庫川女子大学等】
(複数回答 3つまで)

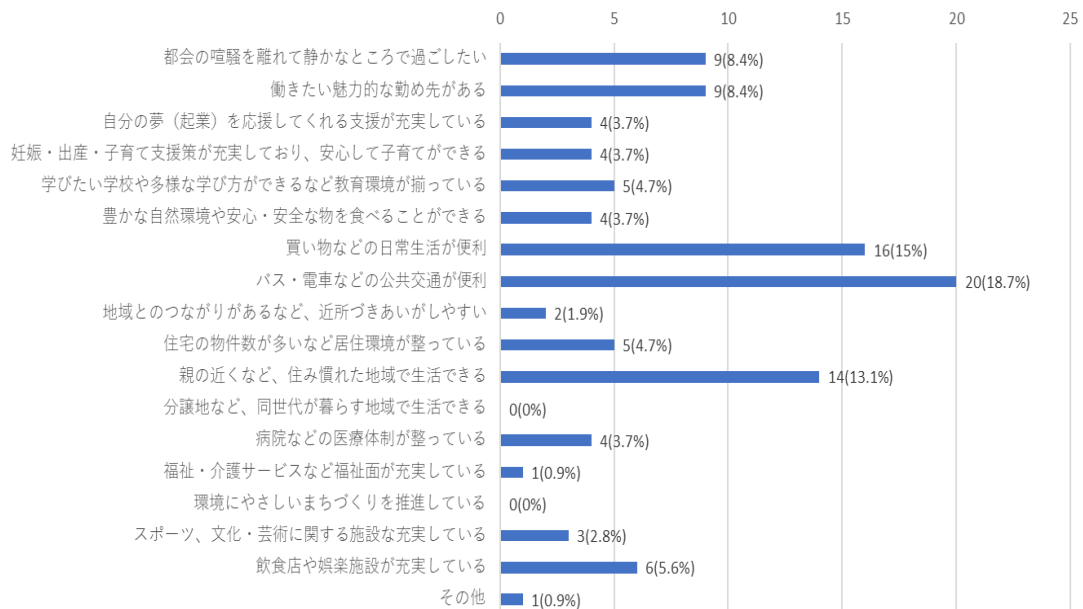
問 20 その地域を希望する条件を教えてください

- ふるさと住民は「働きたい魅力的な勤め先がある」「バス・電車など公共交通が便利」「親の近くなど、住み慣れた地域で生活できる」の順となった。
- 武庫川女子大学等は「バス・電車など公共交通が便利」「買い物など日常生活が便利」「親の近くなど、住み慣れた地域で生活できる」の順となった。

ふるさと住民



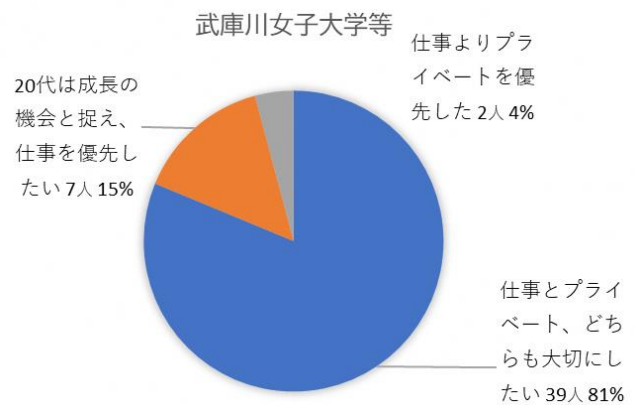
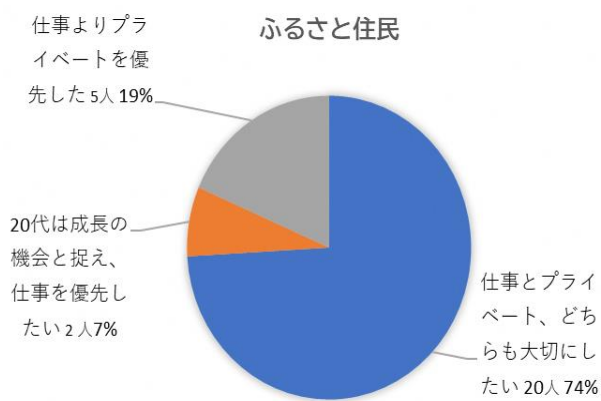
武庫川女子大学等



問 21 20 代の理想の働き方【ふるさと住民（学生のみ）・武庫川女子大学等】
（単数回答）

問 21 あなたの 20 代の理想の働き方を教えてください

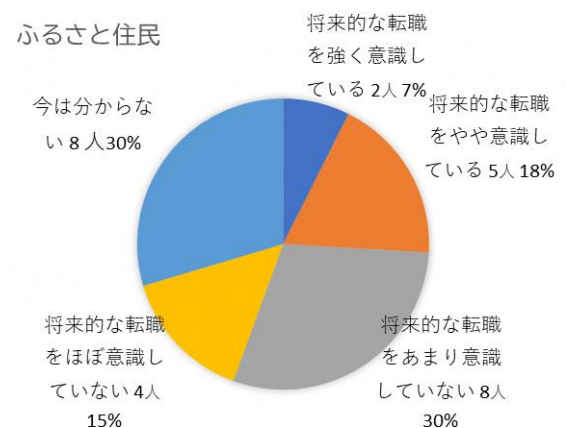
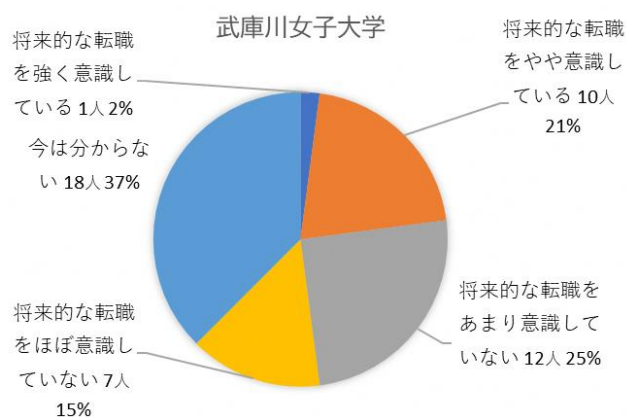
■ふるさと住民及び武庫川女子大学等ともに、「仕事とプライベートの充実」及び「仕事よりプライベートを優先したい」が 80%を超えた。



問 22 転職に対する考え方【ふるさと住民（学生のみ）・武庫川女子大学等】（単数回答）

問 22 あなたの転職に対する考え方を教えてください

■ふるさと住民及び武庫川女子大学等ともに、将来的な転職を意識している割合が 20%を超えている。



問 23 その理由【ふるさと住民（学生のみ）・武庫川女子大学等】（自由記述）

問 23 その理由を教えてください

【ふるさと住民】

《転職の意思がある》

- ・一度は都会に出たいが、地元にも愛着があるため。
- ・医療従事者として、地域に貢献していきたい。転職を考えるよりも スキルアップに努めたい。
- ・色々なことをやってみたいから
- ・様々な土地、環境で成長したいと思うから。
- ・自分に合う仕事は一回では見つからないと思うから
- ・やりたい仕事や住みたい場所はその都度変わると思う。

- ・将来的に丹波市に帰りたいと思っているから。

＜＜転職の意思がない＞＞

- ・教師としてキャリアを積みたいから
- ・実際に働いて合わなかったら転職しようと考えているため
- ・同じところで長く務めたい
- ・1つのことに夢中で取り組みたいため
- ・結婚、妊娠するとかわると思うが、今のところ教員になってそのまま続けたい
- ・時々により考えは変わると思うから。
- ・医療従事者として、地域に貢献していきたい。転職を考えるよりも スキルアップに努めたい。
- ・転職は大変そうだから
- ・転職のメリットがあまり浮かんでいないから。
- ・看護師としてたくさん経験を積みたいから。
- ・転職せずひとつの所でキャリアを積みたいから
- ・希望する職業が安定しているから。

【武庫川女子大学等】

＜＜転職の意思がある＞＞

- ・その職場が合わなかった場合に備えて
- ・会社が合わなければ早めに転職を考えたいから。
- ・キャリアアップのため、さまざまな経験を積みたい。
- ・ステップアップに必要であれば転職を考える
- ・最近をよく転職をすると聞くし、職場が合わなければ、まわりに迷惑をかけないようにして、変えればよいと思うから。
- ・1つの仕事を一生続けるという選択肢以外の働き方もあるのではと考えているから。
- ・様々な職業経験がしたい。キャリアアップをしたい。自分に合った働き方を探したい。居住地が変わる可能性がある。
- ・日本一周しながら先生をしたい夢がある
- ・働きながらも学ぶことがいいので、様々なことを経験してみたいから
- ・近年、転職は当たり前の時代と捉える風潮が強く、自然と転職するものだと考えているから。また、自分のステップアップのためにも様々な職場を経験してみたい。

＜＜転職の意思がない＞＞

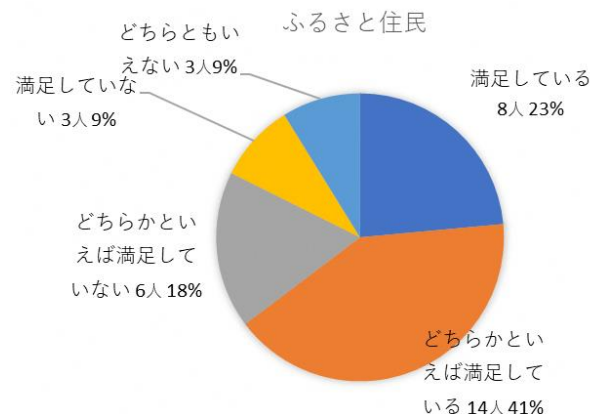
- ・就職活動を何回もしたくないから。
- ・慣れない場所に馴染むのに時間がかかるから
- ・転職前の仕事が本当にあっているか、経験していない為分からないから。
- ・公務員なので、給与が一番安定しているかなと思うから
- ・転々としてたら給料が下がりそうだから。

- ・今転職のことを考えても意味がないと思ったから
- ・キャリアがリセットなるのが嫌だから
- ・職場の人間関係が最も大切であるとするが、その職場にはいつてみないと分からないものであるから。
- ・スキルのないのに転職してもうまくいくはずがないと思っているので、転職を意識せず入社した企業で頑張りたいと考えています。
- ・公務員志望のため。
- ・同じ企業で働き続けたほうが将来的に給与が高くなりやすいから。また、転職できるほどのエネルギーを持ち合わせていないから。
- ・就職活動を新たにするのが面倒
- ・まだ働いていないので、初めの職場の環境が良ければ転職はしなくて良いと考えている。
- ・転職の際に手続きが面倒くさそうだから
- ・現時点自分のしたいことが明確ではないから
- ・安定した職に就いたらそれでいいと思うから

問 24 現在の仕事の満足度【ふるさと住民（社会人のみ）】（単数回答）

問 24 現在のお仕事の満足度を教えてください

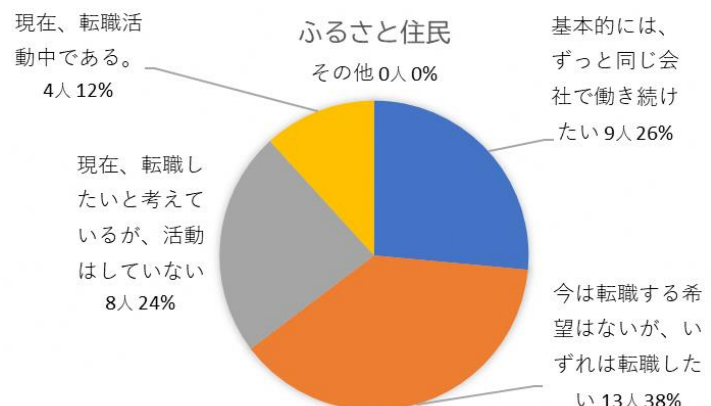
■80%以上の方が現在の仕事に満足している結果となった。



問 25 今後の働き方に関する意向【ふるさと住民（社会人のみ）】（単数回答）

問 25 あなたの今後の働き方に関するご意向を教えてください

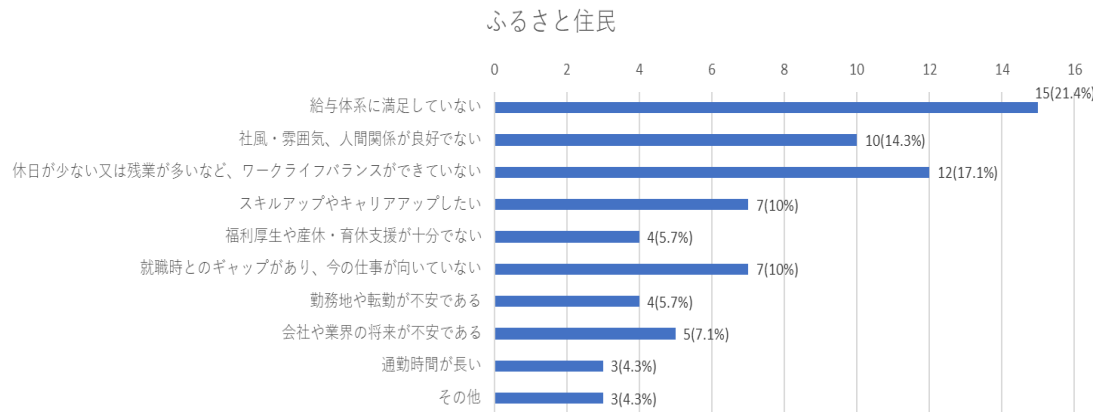
■70%以上の方が、将来的な転職または既に転職活動を開始しており、仕事の満足度と相関関係はない。



問 26 転職する理由【ふるさと住民（社会人のみ）】（複数回答 3つまで）

問 26 転職を検討している又は仮に転職するとなった場合の転職理由を教えてください

■転職を希望する理由として、「給与体系に満足していない」「ワークライフバランスができていない」「社風・雰囲気・人間関係が良好でない」「就職時とのギャップがあり、今の仕事に向いていない」の順となった。

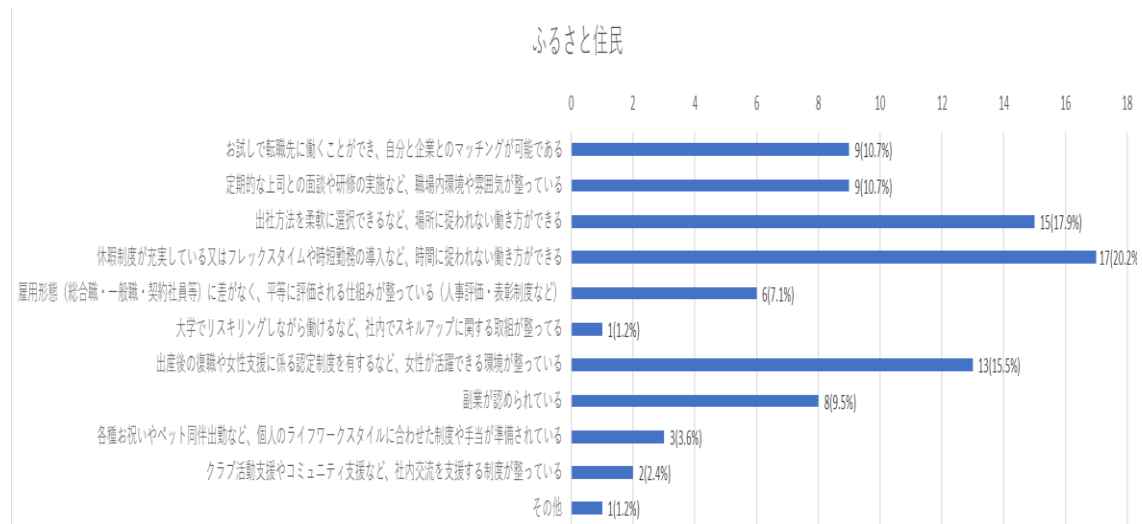


問 27 転職先に求める制度【ふるさと住民（社会人のみ）】（複数回答 3つまで）

問 27 転職を検討する又は転職先として優先的に検討するためには、どのような制度や取組が必要ですか

■転職先に求める制度として、「時間に捉われない働き方」「場所に捉われない働き方」「女性が活躍できる環境」の順となった。

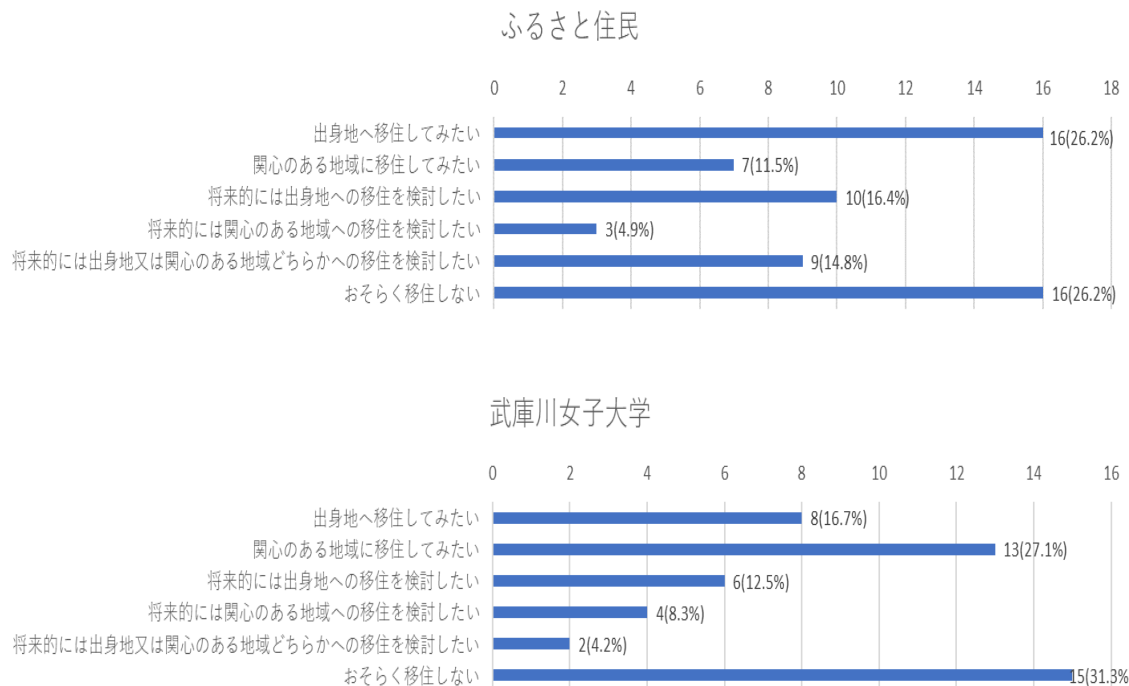
■次いで、「自身と企業とのマッチング」「職場内環境の充実」、「副業」が続いている。



問 28 移住の希望（単数回答）

問 28 あなたは将来的にご自身の出身地や関心のある地方に移住してみたいと思いますか

- ふるさと住民は、「出身地」への移住希望が 42.6%と「関心ある地域」への移住希望 15.4%を上回った。
- 武庫川女子大学等は、「関心のある地域」への移住希望が 35.4%と「出身地」への移住希望 29.2%を上回った。



問 29 関心のある地域（自由記述）

問 29 あなたにとって、「関心のある地域」とは、どのような地域ですか。

【ふるさと住民】

- ・親戚が住んでいて、何度も行ったことのある
- ・交通の便がいい
- ・交通の便が良く、商業施設も整っているが治安が悪くない印象があるため。
- ・生活しやすい場所に移住したい。
- ・一度住んだことがある慣れ親しんだ地域
- ・地元の近く、生活したことのある地域
- ・実際に訪れたことのある地域
- ・老後暮らしたいと思える落ち着いた地域
- ・生活に必要な店舗などが揃っていながら緑もある、都会と田舎の中間のような地域
- ・家族と過ごした地域
- ・都会ではなく中都会。暮らしやすさや便利さにおいて魅力を感じる。
- ・自分の好きな食べ物が産物であったり、のどかで住みやすい地域

- ・ 何度が訪れたことがあり、その土地の味付けなどが自分に合っていると感じる。人が密集しすぎて居ない地域。
- ・ 大学生活を通して愛着を持った地域。
- ・ 生活しやすい
- ・ 休日にリラックス出来る場所。
- ・ 自然が豊かで、地域の人との繋がりが密接にあり、育児もしやすいような地域。
- ・ 利便性が良い、穏やかな人が多い

【武庫川女子大学等】

- ・ 好きな地域例えば長野
- ・ 緑が多く、交通が充実している地域。
- ・ まだいないからどこかわからないけど、結婚相手の地元とか…
- ・ 何回も訪れたことがある場所
- ・ 自然豊かで、落ち着いた場所。人口が少なく、沢山のひとと親密な関係を築ける田舎がいいです。
- ・ ニュースなどで取り上げている
- ・ ある程度自然が多いところ。
- ・ スーパー薬局などの買い物施設や交通機関が充実していつつ、家賃が安いところ
- ・ 大学時代過ごした場所で、暮らしやすい印象があります。
- ・ 祖父母がいた地域。また、ほどよく都会で自然が豊かなところに住んでみたいです。
- ・ 住みやすいとか、その地域の景色を毎日みたいと思ったりするといった地域。
- ・ 旅行へ行った時に施設が充実しており、過ごしやすそうだと感じた環境。
- ・ 都心部にアクセスしやすい。
- ・ 行ったことのないところ
- ・ まだ出会っていないが、生活しやすい地域
- ・ 自然豊かで落ち着ける場所があると同時に交通アクセスが便利な地域
- ・ 昔住んでいた地域
- ・ 住みやすいとか、その地域の景色を毎日みたいと思ったりするといった地域。

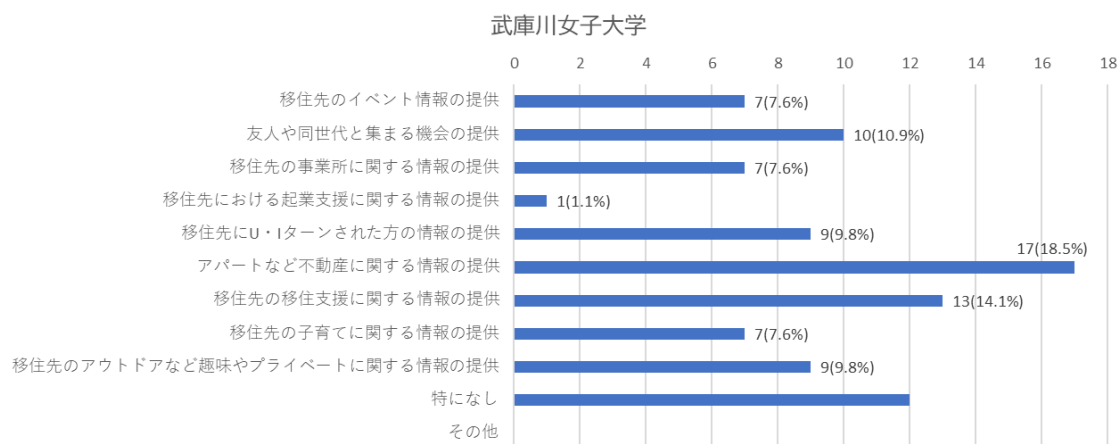
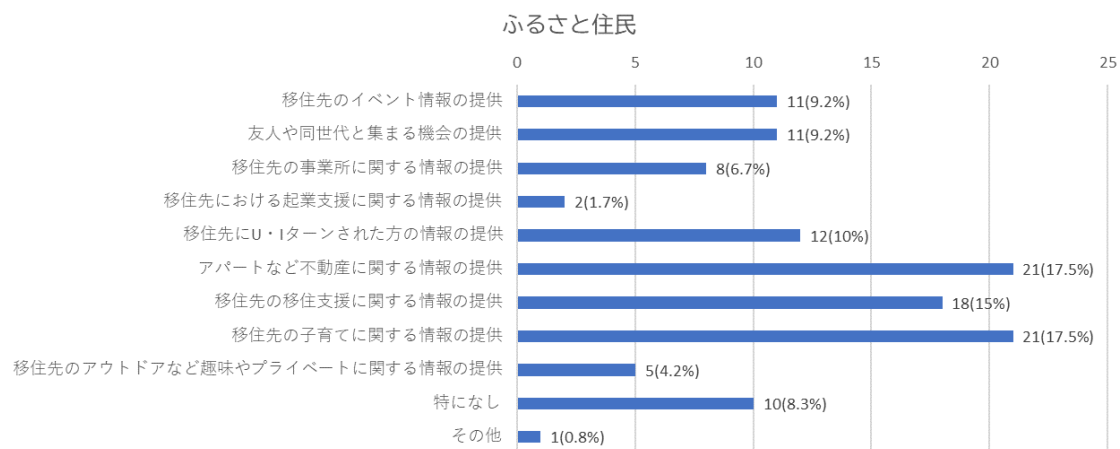
問 30 移住先を知る有効な情報（複数回答 3つまで）

問 30 あなたにとって、移住先を知りたいと考えた時に、有効な情報はどの情報になりますか

- ふるさと住民は、「アパートなど不動産に関する情報の提供」「移住先の子育てに関する情報の提供」「移住先の移住支援に関する情報の提供」の順となった。
- 次いで、ふるさと住民は「移住先にU・Iターンされた方の情報の提供」「移住先のイベント情報の提供」「友人や同世代と集まる機会の提供」の順となった。
- 武庫川女子大学等は、「アパートなど不動産に関する情報の提供」「移住先の移住支援に関する情報の提供」「友人や同世代と集まる機会の提供」の順となっ

た。

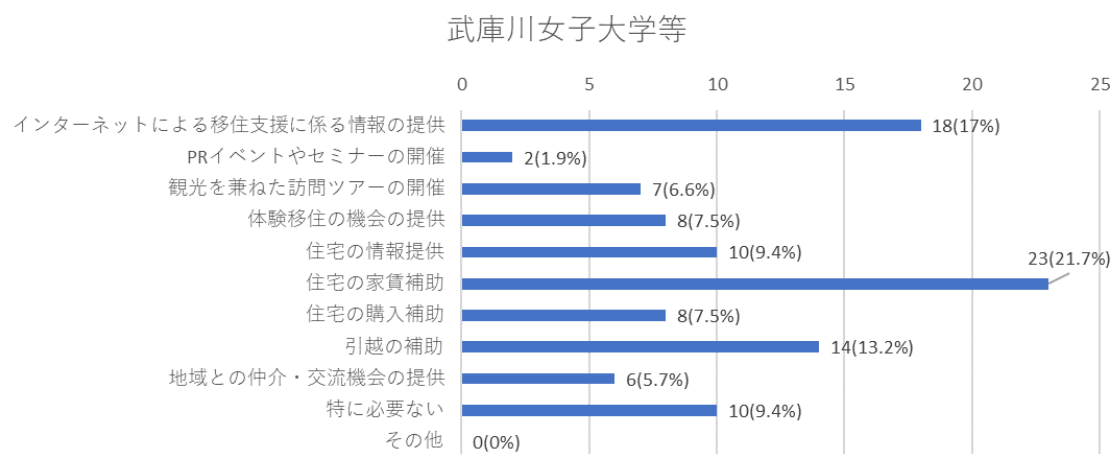
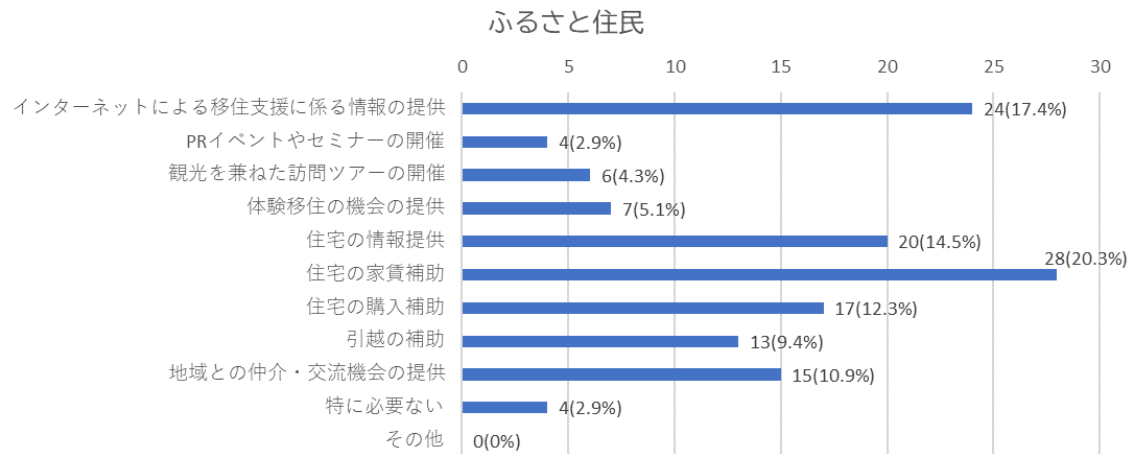
- 次いで、武庫川女子大学等は、「移住先にU・Iターンされた方の情報の提供」「移住先のアウトドアなど趣味やプライベートに関する情報の提供」の順となった。



問 31 移住にあたっての必要な支援（複数回答 3つまで）

問 31 あなたが移住先を検討するにあたり、必要な支援があれば、教えてください

- ふるさと住民及び武庫川女子大学等ともに「住宅の家賃補助」「インターネットによる移住支援に係る情報の提供」の順となった。
- ふるさと住民は、次いで「住宅の情報提供」「住宅の購入補助」が続いている。
- 武庫川女子大学等は、次いで「引越の支援」「住宅の情報提供」が続いている。



問 32 その他、若者や女性が地方で生活しやすくなる取組やヒント（自由記述）

問 32 そのほか移住にあたって、希望される移住支援や生活面でのサポート、また若者や女性が地方で生活しやすくなるために必要な取組やヒントについて、あなたのご意見を教えてください

【ふるさと住民】

- ・車 補助、育児に必要な金額の補助
- ・子育ての支援体制が整っていると、戻りたいなと思います。
- ・交通網も悪く店も無く普通の若者や女性は丹波で生活しやすいとは思えないと思う。特に高齢者は県外からの移住者への田舎特有の余所者意識が強くなり不快だった。
こういったアンケートは地元の間人間だけで構成されるコミュニティ内で共有しない方がいいと思う(丹波に生まれ育って外に出ていない人間にこの異様さは理解ができないと思う)。
批判的なアンケートにも目を向けられるまともな人が丹波にもいることを望みます。
- ・その土地で 子どもを産み育てたいと思えるような 魅力的な部分。 金銭面においても、インフラ整備においても。 生きていくうえで 不自由なく

心地よく過ごしていきたい。

- ・ 支援金があれば移住しやすい
- ・ 丹波市においての話にはなるが個人的に 1 番ネックに感じているのは交通の便が悪いことです。その面に対しての補助があればいいのではと思います。
- ・ 自分が若い頃一人暮らしをする為、住宅を探すにあたり、治安の情報が一番最初に知りたいと思いました。実際に住んでいる方の話を聞けると安心できるかなと思います。
- ・ 若者が地方で生活しやすくなるために、多様な就職先の提供が必要だと思う。
- ・ 移住するにあたって必ず働く場所は必要となってくるので、働く場所の情報提供をもっと行って欲しい。私もいつか丹波市に帰りたいが、やはりいい働き口がないのがすごくネックになっている。もしかしたら、あるのに知られてないだけかもしれないが、もっと発信して欲しい。また、地元の祭などは基本的に地元の人に参加することになっているが、そこに移住者も参加出来るスペースも設ければ、移住者と地元の人との交流もできるし、高齢化で人手が足りないという問題も多少は改善できるのかもしれない。(関係人口の増加)
- ・ 年をとった時に車の運転ができないと病院行ったり出かけたりできない場合の公共交通機関の充実が望ましい。西宮も山手になると一気に交通の便もわるく坂も多い。そのため病院受診などが難しいと言う声が仕事してても出ている。車がないと生活できないと言うのは移住を考える上でネック。

【武庫川女子大学等】

- ・ 物価高による生活が困難な人に向けての支援など。
- ・ 下着を干す時とか見られたくないし盗られたくないから結構でかい柵とかほしい。あとベランダは東、南、西の向きが見えるのが良い朝太陽が入り込むし、月も見やすいから。
- ・ 金銭面での一時的サポートのみでなく、長期的なサポート
- ・ なんでも揃うような商業施設は欲しいなと思います。若い世代の人でも気軽にメイクや服が買い揃えられれば、より暮らしやすいです。
- ・ 交通の便が大事だと思います。地方でも、行きたいところにいける移動手段があればいいと思います。
- ・ 治安が良いところになって欲しい
- ・ 対策の強化です。地方は人が少なく自然も豊かで魅力的な一方で、街灯が少なかったり、夜間に人通りがなかったりして、不安を感じる場面があります。特に女性や子ども、単身者が安心して暮らせるようにするためには、防犯カメラの設置や見守り活動、地域の防犯パトロールの充実などが必要だと思います。また、もう一つ重要なのは、公共交通機関の料金の安さや利便性の向上です。都市部と違い、地方では車がないと移動が難しい場合も多いため、学生や若者、高齢者、車を持たない家庭にとっては大きなハードルになります。電車やバスの本数を増やすことは難しくても、料金の割引制度や乗り放題パスの導入、オンデマンド型の乗り合い交通など、柔軟な支援があると生活のしやすさが大き

く変わると感じます。

さらに、若者や女性が地方で安心して生活していくためには、仕事と住まいの両方の支援がセットになっていることも重要です。テレワークや起業支援の環境づくりと同時に、安心できる住環境や、子育て・医療・教育の充実も欠かせません。

地方は自然や人とのつながりが魅力ですが、それを生かすためにも、「安心」と「交通の自由」がきちんと守られていることが、移住先としての信頼につながると思います。